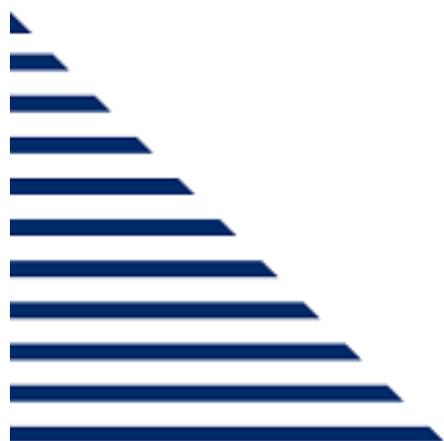




# 長岡京市 第2次健康増進計画

令和3年3月

長岡京市





# はじめに

人生100年時代。安心して年を重ねるには、健康でいられることを、だれもが願うところだと思います。

市民の皆様が、安心して子どもを産み育て、いつまでも健康で、充実した生活を送れることを目指し、「長岡京市第2次健康増進計画」を策定致しました。

本計画は、令和3年度からの「長岡京市第4次総合計画 第2期基本計画」の施策体系の内、「こども」「くらし」の2つの柱について、保健、医療の分野として展開していく位置付けとなっております。

また、「長岡京市第2次地域健康福祉計画」を上位計画として、庁内関係各課の関連する計画と調和を図りながら実施していく業務計画であります。

少子・高齢化の進展、生活習慣病の増加といった疾病構造の多様化など、健康を取り巻く環境は、変化の波にさらされている状況にあります。

折しも、令和2年3月に世界保健機関(WHO)によってパンデミック宣言がなされた新型コロナウイルス感染症の収束には長期化が見込まれており、感染対策を講じた新しい生活様式の実践が求められているところであります。

正に、健康を脅かす状況下において、だれもが安心、安全に暮らせる環境の整備に努め、市民の皆様が健やかに暮らしていけるよう、本計画を着実に進めて参りたいと考えております。

最後に、本計画の策定にあたり、貴重なご意見、ご指導を賜りました、長岡京市地域健康福祉推進委員会健康づくり部会の皆様をはじめ、市民の皆様、関係機関の皆様方に厚くお礼申し上げます。

令和3年3月



長岡京市長 中小路 健吾



# 目次

<b>第1章 計画の策定にあたって</b>	<b>1</b>
1. 計画策定の背景	
2. 計画の位置づけ	
3. 計画の期間	
<b>第2章 計画の基本的な考え方</b>	<b>5</b>
1. 基本理念	
2. 基本目標	
<b>第3章 長岡京市民の健康状態の概況</b>	<b>6</b>
1. 人口の推移と構成	
2. 健康状態の概況	
<b>第4章 長岡京市健康増進計画(前計画)の評価</b>	<b>12</b>
1. 評価の概要	
2. 分野別計画と取組の評価	
<b>第5章 分野別計画及び評価指標</b>	<b>16</b>
1. 母子保健分野	
2. 成老人保健分野	
<b>《資料編》</b>	<b>25</b>
1. 計画策定の過程	
2. 長岡京市地域健康福祉推進委員会健康づくり部会での検討	



# 第1章

## 計画の策定にあたって

### 1. 計画策定の背景

平成24年7月に厚生労働省から「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針」が出されました。これは、生活習慣及び社会環境の改善を通じて、子どもから高齢者まで全ての国民が共に支え合いながら希望や生きがいを持ち、ライフステージに応じて、健やかで心豊かに生活できる活力ある社会を実現し、その結果、社会保障制度が持続可能なものとなるよう、国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な事項を示した「二十一世紀における第二次国民健康づくり運動(健康日本21(第二次))」であり、平成25年4月から適用、令和4年度まで推進するものとされています。

また国は、母子保健分野では平成13年度から26年度までの「健やか親子21」の取り組みを受け、平成27年度から令和6年度までの次期計画「健やか親子21(第2次)」を実施中です。市では、子ども・子育て支援法に基づく各事業(平成27年度から本格施行)の内、地域の実情に応じた子ども・子育て支援事業の「利用者支援事業 母子保健型」に基づき、子育て世代包括支援センター(長岡京子育てコンシェルジュ事業)を平成28年度から設置し、妊娠期から子育て期の切れ目ない支援を行っております。

一方京都府においては、人口減少、高齢化、生活習慣病の増加などの変化の中、府民に住み慣れた地域で良質なサービスを切れ目なく提供するため、「健康増進計画」と「きょうと健やか21(第3次)」を「医療計画」に一体化した、「京都府保健医療計画」(平成30年度から令和5年度までの6年間)を作成しています。「きょうと健やか21(第3次)」では、健康寿命を延伸し、すべての府民が健康でいきいきと暮らしていくための取り組みを示しています。

以上のような国や京都府の動向を取り入れ、長岡京市民の健康づくりや母子保健対策を一体化した「長岡京市第2次健康増進計画」を策定することとしました。

**\*新型コロナウイルス感染症への対応について**

新型コロナウイルス感染症は令和2年3月11日に世界保健機関(WHO)によってパンデミック宣言がなされ、対応は長期化が見込まれるものであります。

新型コロナウイルス感染症対策として、「新しい生活様式の実践」が求められているところで、本計画の期間である今後5年間においてもそのことを意識しながらの対応が必要と考えています。

## 2. 計画の位置づけ

長岡京市第4次総合計画の基本構想では、まちの将来像として、『住みたい 住みつづけたい 悠久の都 長岡京』を掲げています。さらに、5年毎の目標を基本計画で示しており、各施策の推進が、人口減少時代を超えて持続的に発展できるまちづくりに繋がっていくよう目指しています。

現在、第4次総合計画は、令和3年度からの第2期基本計画が開始となり、第2期基本計画施策体系の6つの柱の内、保健・医療の分野では、「こども」「暮らし」の2つの柱について、施策を展開していく位置付けとなっています。

また、庁内関係各課の関連する業務の計画としての「長岡京市健幸長寿プラン2025」・「食育推進計画」、国民健康保険課の「保健事業実施計画(データヘルス計画)(第2期)」、子育て支援課の「子ども・子育て支援事業計画」、高齢介護課の「高齢者福祉計画」・「介護保険事業計画」等があり、これら各計画との調和を図ります。

「長岡京市第2次健康増進計画」は、健康づくり推進課が所管する事業の実施計画とします。母子保健の分野においては、「母子保健計画」と読みかえることとします。

## 3. 計画の期間

当課の事業実施計画として平成9年度に策定した「長岡京市保健計画」から、以後概ね5年ごとに見直しを行ってきました。

「長岡京市第2次健康増進計画」は、上位計画の「長岡京市第2次地域健康福祉計画」に沿い、令和3年度から令和7年度までの5か年計画とします。

図表 本計画及び関連諸計画の対象期間

H28年度	H29年度	H30年度	H31/R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
(2016年度)	(2017年度)	(2018年度)	(2019年度)	(2020年度)	(2021年度)	(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	(2025年度)	(2026年度)	(2027年度)	(2028年度)	(2029年度)	(2030年度)
長岡京市第4次総合計画														
第1期基本計画				第2期基本計画					第3期基本計画					
長岡京市健幸長寿プラン2025														
前期プラン							後期プラン							
長岡京市第2次地域健康福祉計画														
前期計画					中期計画					後期計画				
長岡京市健康増進計画 (平成25年度～)					長岡京市第2次健康増進計画					長岡京市第3次健康増進計画				
長岡京市第2次食育推進計画					長岡京市第3次食育推進計画					長岡京市第4次食育推進計画				
長岡京市保健事業 実施計画(第1期)		長岡京市保健事業実施計画 (データヘルス計画)(第2期)					長岡京市保健事業実施計画 (データヘルス計画)(第3期)							
長岡京市国民健康 保険特定健康診査等 実施計画(第2期)		(長岡京市国民健康保険特定健康診査等実施計画(第3期))					(長岡京市国民健康保険特定健康診査等実施計画(第4期))							
長岡京市 子ども・子育て支援事業計画 (平成27年度～)				長岡京市第2期 子ども・子育て支援事業計画					長岡京市第3期 子ども・子育て支援事業計画					
長岡京市第7次 高齢者福祉計画		長岡京市第8次 高齢者福祉計画			長岡京市第9次 高齢者福祉計画									
長岡京市第6期 介護保険事業計画		長岡京市第7期 介護保険事業計画			長岡京市第8期 介護保険事業計画									
第5次長岡京市 障がい者(児)福祉基本計画					第6次長岡京市 障がい者(児)福祉基本計画									
長岡京市 障がい福祉計画 (第4期計画)		長岡京市障がい福祉計画 (第5期計画)			長岡京市障がい福祉計画 (第6期計画)			長岡京市障がい福祉計画 (第7期計画)						
		障がい児福祉計画 (第1期計画)			障がい児福祉計画 (第2期計画)			障がい児福祉計画 (第3期計画)						
京都府保健医療計画 (平成24年度～)		京都府保健医療計画												
健康日本21(第二次) (平成25年度～)														
健やか親子21(第2次) (平成27年度～)														

※



策定予定の計画

**< 健康日本21（第二次）の5つの柱 >**

1. 健康寿命の延伸・健康格差の縮小
2. 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底
3. 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上
4. 健康を支え、守るための社会環境の整備
5. 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び  
歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善

## 第2章

# 計画の基本的な考え方

### 1. 基本理念

健康とは、単に病気でない、虚弱でないということではなく、身体的、精神的、そして社会的に完全に良好な状態と定義づけられています(1948年WHO憲章<sup>※</sup>)。

少子高齢化や核家族の増加、市民のライフスタイル、価値観の多様化などの社会背景は、身近な地域社会の中で、子育てを支えあう地域の繋がりが、困った時に声を掛け合う関わりなどを徐々に少なくしている状況にあります。地域の繋がりが減ることによって孤立化し、よりよく生きるための社会環境が整いにくくなっています。

乳幼児期から高齢期まですべての市民の人権が守られた中で、充実した保健・医療・福祉の社会資源がもたらす安心の環境を維持しつつ、家庭や地域の互いに支えあう力をより一層強めることで、誰もが住み慣れた地域で安心していきいきとその人らしく暮らしていけるまちを築いていくことを目指します。

#### 【用語説明】

※WHOは、国際連合の専門機関であり、1946年ニューヨークで開かれた国際保健会議が採択した世界保健憲章(1948年4月7日発効)によって設立された。

「すべての人々が可能な最高の健康水準に到達すること」(憲章第1条)を目的としている。

### 2. 基本目標

長岡京市第4次総合計画 第2期基本計画の基本計画施策体系における6つの柱の内、母子保健分野は「こども」、成老人保健分野は「くらし」を基本目標とします。

**こども** (母子保健分野) 子どもを望む人が安心して妊娠・出産でき、また、乳幼児が健やかに育つ環境が整うことを目標とします。

**くらし** (成老人保健分野) 「自分の健康は自分で守る」という意識と行動が浸透し、疾病の予防と早期発見、治療につながって、市民の健康寿命が延伸することを目標とします。

## 第3章

# 長岡京市民の健康状態の概況

### 1. 人口の推移と構成

本市は、昭和30年代後半から京都市や大阪市を中心とする近郊都市として急激な人口流入が進み、昭和40年で約30,000人の人口がその後15年間で2.4倍もの人口流入をみて、昭和55年には、71,445人となりました。それ以降は人口の社会増減(転出入)と自然増によるゆるやかな増加に留まり、平成7年の78,697人をピークに横ばいとなっていました。平成17年頃からJR長岡京駅西口の再開発やマンションの建設、宅地造成などによって人口が増え始め、平成23年には8万人を越えました。

一方、高齢化率は年々増加し、平成2年の8.4%から平成17年の17.4%と15年の間に倍以上となりました。更に平成22年国勢調査の21.2%から、平成27年国勢調査では25.7%と4ポイント上昇し、高齢化社会が進行しています。人口動態の推移が、平成29年度から死亡数が出生数を上回るようになってきていることからその傾向はうかがえます。

団塊の世代が後期高齢者になる令和7年(2025年)には、高齢化率は27.9%になると推計され、医療や介護などの需要がさらに増加することが見込まれます。

#### ■人口の推移

(単位:人)

年次	人口総数	備考
平成27年	80,090	第20回国勢調査
平成28年	80,213	京都府推計人口
平成29年	80,424	京都府推計人口
平成30年	80,562	京都府推計人口
令和元年	80,514	京都府推計人口

(長岡京市統計書 令和元年版)

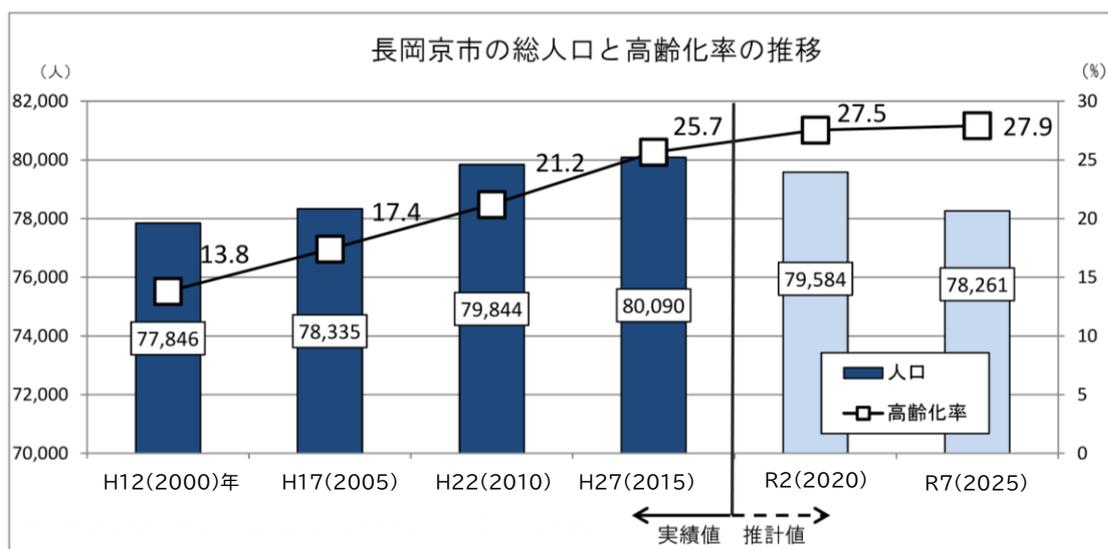
## ■人口動態の状況

(単位:人)

年次	自然増加	出生	死亡
平成27年	120	713	593
平成28年	53	747	694
平成29年	△39	643	682
平成30年	△51	670	721
令和元年	△33	648	681

(長岡京市統計書 令和元年版)

## ■高齢化率の推計



資料:平成12～27年 国勢調査

令和2～7年 厚生労働省独自推計(平成29年)

※令和2、7年については、可能な限り最新のデータを活用するため、

厚生労働省が平成27年国勢調査の結果を基に、平成29年に独自推計した数値を掲載(長岡京市健幸長寿プラン2025)

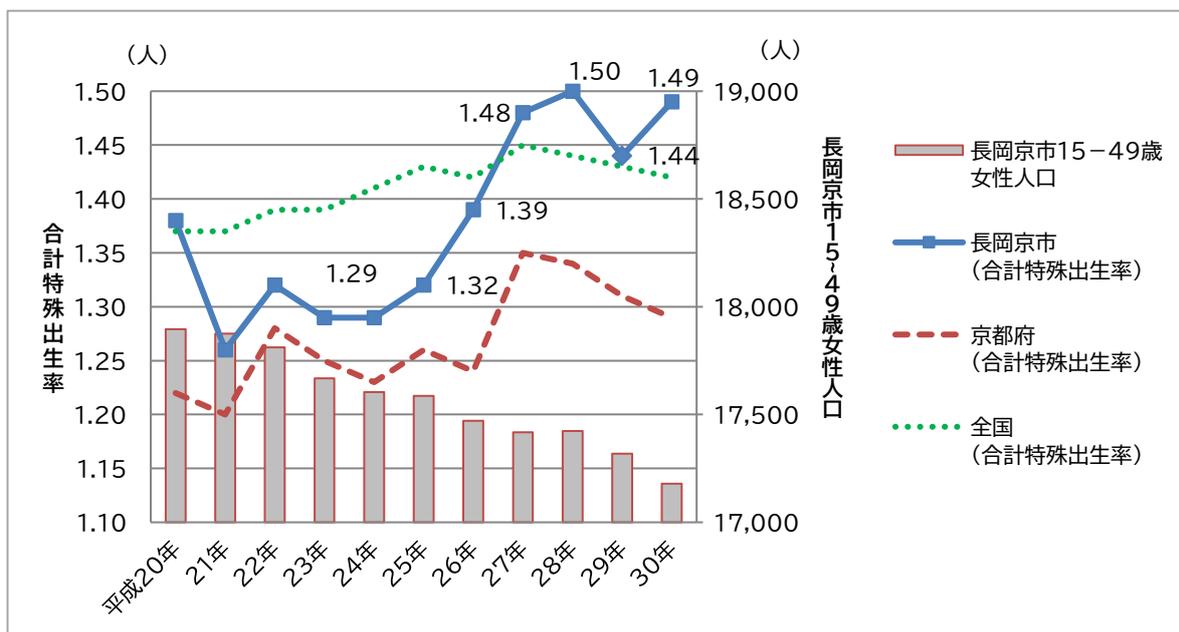
## ■年齢構成の推移

(単位：%)

年次	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和元年
年少人口割合 (0~14歳)	13.8	13.8	14.3	14.1	14.0
老年人口割合 (65歳以上)	13.8	17.6	21.7	25.8	26.6

(長岡京市統計書 令和元年版)

## ■合計特殊出生率



### 【出典】

- 人口動態統計  
(合計特殊出生率)
- 住民基本台帳  
(長岡京市 15-49 歳女性人口)

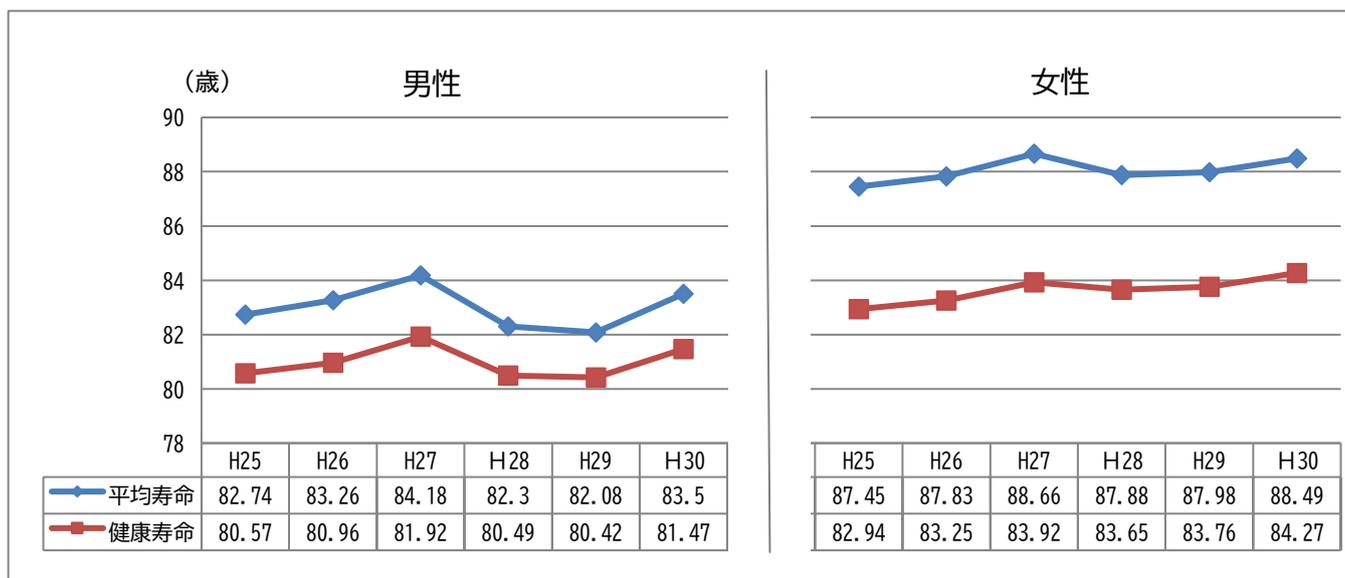
## 2. 健康状態の概況

本市の平均寿命は、男女とも京都府の平均より長く、平成27年厚生労働省発表の生命表によると、男性の平均寿命<sup>※1</sup>は全国のベスト12位であり、京都府下ではトップでありました。平均寿命と健康寿命<sup>※2</sup>の関係を見る時に、平均寿命の伸びを上回る健康寿命の伸びが見られることが市民の健康度を評価するひとつの指標となります。

厚生労働省研究「健康寿命の全国推移の算定・評価に関する研究(2018.3)」による「健康寿命の推移の評価プログラム」を用いて平成27～30年の評価を実施すると、男女とも「平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加」が見られます。今後も、この状態を維持できるように対策を進めていく必要があります。

死亡の状況からみる市民の疾病の状況は、標準化死亡比<sup>※3</sup>によると、男性では「気管・気管支及び肺がん」、「腎不全」が京都府より少し高い状況であります。女性では、「心不全」、「脳梗塞」、「肺炎」などが全国平均・京都府平均より高い状況にあります(P.11 参照)。

### ■本市の平均寿命と健康寿命



(平均寿命:厚生労働省 市町村別生命表) (健康寿命:厚生労働科学研究「健康寿命に関する研究成果公開ホームページ」の「健康寿命算定プログラム」を用いて算定)

## ■国と京都府の平均寿命と健康寿命

(単位:歳)

	平均寿命(平成 27 年)		健康寿命(平成 25 年)	
	男性	女性	男性	女性
全 国	80.77	87.01	71.19	74.21
京都府	81.40	87.35	70.21	73.11

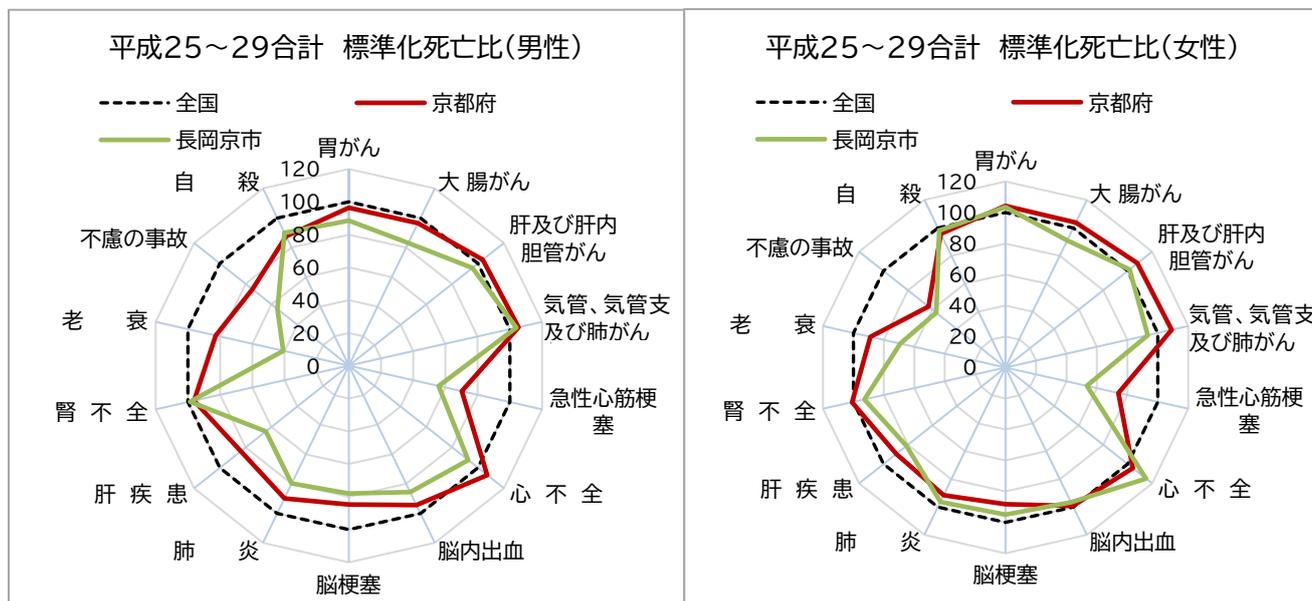
(京都府:「きょうと健やか21(第3次)」)

※健康寿命の算定について

	国(「健康寿命算定プログラム」算定)	市(独自算定)
健康な人の数の取り方	日常生活に制限のない期間の平均	日常生活動作が自立している期間の平均
測定法	国民生活基礎調査 (抽出・自記式調査 3年毎)	要介護2以上の人の数
対象集団	都道府県(大都市)	都道府県・市町村

<注>国と市の健康寿命の算定は、使用データが違うことと、データの規模で誤差が生じるため、単純に比較はできない。

## ■標準化死亡比



### 【用語説明】

※1 平均寿命：0歳の平均余命を示している。

※2 健康寿命：健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間。  
健康で過ごしている期間の算定は、厚生労働省研究班による健康寿命の指標「日常生活動作が自立している期間の平均」（不健康な状態を要介護 2～5 として算定）を用いて算定している。

<参照：健康寿命の算定について>

※3 標準化死亡比：年齢構成の違いの影響を除いた死亡率について全国基準値を 100 として比較したもの。

## 第4章

# 長岡京市健康増進計画(前計画)の評価

### 1. 評価の概要

「長岡京市健康増進計画(前計画)」は、平成 25 年度から令和 2 年度末までを計画期間とし、分野別に目標値を掲げ達成指標を設定していました。これに基づき以下のような評価を行いました。(令和元年度末に流行した新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業については、補足説明を入れています。)

### 2. 分野別計画と取組の評価

#### 【健康の増進】母子保健分野

	計画策定時 (平成25年度)	目標値	最終評価時 (令和元年度)	結果
--	-------------------	-----	------------------	----

#### ◆育児支援事業

母子健康手帳発行時の保健師面接	93.1%	100%	100%	達成
子育てふれあい教室の参加率	42.8%	50%以上		
10か月児教室の参加率	89.3%	90%以上	93.2%	達成

#### ◆新生児訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)

訪問時の月齢が新生児、1か月児の割合	57.7%	60%以上	70.2%	達成
こんにちは赤ちゃん事業の訪問率	99.0%	99%以上	98.0%	※1
母乳育児の割合	92.6%	90%以上	91.3%	達成

#### ◆予防接種事業

乳幼児期の予防接種の接種率	95%以上	95%以上	—	※2
---------------	-------	-------	---	----

#### ◆医師・心理発達相談事業

地域子育て支援センターとの連携回数	12回	14回	3回	※3
小学校との連携回数	10回	10回以上	10回	達成

※1 こんにちは赤ちゃん事業の訪問率については、平成 30 年度までは 99%以上を維持し、達成。  
令和元年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で訪問数が減少したことにより、目標の訪問率を達成することができなかった。

※2 乳幼児期の予防接種率については、平成 30 年度までは 95%以上を維持し、達成。  
令和元年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による医療機関への受診控え等により、95%以上を達成しない予防接種があった。また、集団接種で実施している BCG については、令和 2 年 3 月分を延期したため、接種率が下がった。

※3 平成30年度から長岡京子育てコンシェルジュとして必要時保健師が地域子育て支援センターと連携し、支援を行っている。

	計画策定時 (平成25年度)	目標値	最終評価時 (令和元年度)	結果
<b>◆乳幼児・妊婦健康診査事業</b>				
乳幼児健診(3歳6か月児健診)受診率	94.3%	95%以上	96.9%	達成
乳幼児健診(3歳6か月児健診)精検受診率	76.4%	85%以上	68.0% <sup>※4</sup>	未達成
健診の未受診児の状況把握率	100%	100%を維持	100%	達成
むし歯のない3歳児の割合	87.3%	85%以上	90.4%	達成

<b>◆育児支援家庭訪問事業</b>				
支援が必要な家庭への訪問等での支援割合	86.4%	93%以上	100%	達成

※4 平成30年度は79%。令和元年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による医療機関への受診控え等により、受診率が68%にとどまった。

母子保健分野は、設定した目標値をほぼ達成することができました。「子育てふれあい教室」は、平成29年度で終了し、子育て支援課新規事業の「親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんがきた！”」にひきつぎました。

#### 【健康の増進】成老人保健分野

	計画策定時 (平成25年度)	目標値	最終評価時 (令和元年度)	結果
<b>◆健康づくり教育事業</b>				
血管イキイキ講座参加者	95人	100人以上		※5
「のこちゃん体重日記」ホームページアクセス数	110件	1か月平均200件以上	140件	未達成
健康づくり情報の広報・ホームページ掲載回数	18回	年間25回以上	33回	達成
市政情報放映モニター活用回数		年間5回以上	10回	達成

#### ◆成老人健康診査・がん検診・後期高齢者健康診査事業

20・30歳代の健康診査受診率	6.4%	7%以上	5.7%	未達成
大腸がん検診受診率	23.1%	25%以上	20.2%	未達成
子宮頸がん検診受診率	21.3%	23%以上	16.5%	未達成
乳がん検診受診率	16.9%	25%以上	17.2%	未達成
胃がんリスク検診受診率	16.5%	25%以上	14.9%	未達成
乳がん個別検診委託医療機関数	1か所	4か所以上	26か所	達成

※5 血管イキイキ講座については本文(P.15)参照

		計画策定時 (平成25年度)	目標値	最終評価時 (令和元年度)	結果
<b>◆生活習慣病予防教育事業</b>					
特定保健指導実施率		12.5%	60%	28.4% <sup>※6</sup>	未達成
健康に対する意識の向上 (行動変容段階)	生活習慣改善の意思なし	28.5%	改善	27.7% <sup>*</sup>	改善
	生活習慣改善の意思あり(6か月以内)	28.5%		27.6%	
	生活習慣改善の意思あり(近いうち)	11.2%		13.3%	
	生活習慣改善の取組済み(6か月未満)	7.5%		8.6%	
	生活習慣改善の取組済み(6か月以上)	22.1%		23.2%	
望ましい生活習慣の実践	食習慣 食べる速度(速い)	22.3%	低下	26.6% <sup>*</sup>	増加
	就寝前2時間以内に夕食をとる者	11.6%	減少	12.7%	増加
	夕食後に間食をとる者 <sup>※H30から廃止</sup>	10.0%	減少		
	朝食欠食率	5.4%	減少	5.7%	増加
	飲酒習慣 飲酒頻度(毎日)	27.8%	低下	24.4%	低下
	飲酒量(1合以上)	32.1%	低下	31.0%	低下
	運動習慣 運動継続者	45.3%	増加	44.7%	減少
	適度な身体活動実施者	54.6%	増加	53.0% <sup>*</sup>	減少
	喫煙習慣 喫煙率 男性	21.7%	低下	7.8%	低下
	〃 女性	4.9%		2.6%	低下
睡眠習慣(睡眠で休息が得られている人)	76.7%	増加	76.3% <sup>*</sup>	減少	
生活習慣病の予防、骨折しない体づくり	肥満者数 男性	54.1%	減少	52.5%	減少
	〃 女性	23.7%		23.9%	増加
	血圧値 保健指導レベル以上の者	46.3%	減少	43.1% <sup>*</sup>	減少
	LDL-コレステロール値 保健指導レベル以上の者	55.5%		49.9% <sup>*</sup>	減少
	HbA1c値 保健指導レベル以上の者	48.1%		53.9% <sup>*</sup>	増加
	メタボリックシンドローム予備群	10.2%	減少	9.8%	減少
	メタボリックシンドローム該当者	15.6%		17.0%	増加
特定保健指導レベル悪化者の割合(特定健診のみ)	3.1%	減少	2.3%	減少	

\*有意差あり(p<0.05)

▶「生活習慣改善に対する行動変容段階」「メタボリックシンドローム予備群・該当者」「特定保健指導レベル悪化者数の割合」は Mann-Whitney 検定、他は  $\chi^2$  検定。

▶「特定保健指導レベル悪化者数の割合」の検定結果は、H24・R1 をそれぞれ単独で見た場合に、受診者の保健指導レベルについて「なし/動機付け支援/積極的支援」の3段階に分類したものであり、「特定保健指導レベル悪化者」については言及していません。

※6 平成30年度は29.7%。令和元年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による特定保健指導の教室中止や訪問控えにより、実施率が28.4%にとどまった。

成老人保健分野は、がん検診や特定保健指導は目標値に達していませんが、市民の健康に対する意識は改善している項目が見られます。令和元年度から、血管イキキ講座のような、従来までの集合型の健康教室を開催する方法から、地域の既存の集まり等に出向いた健康情報の発信や、無料歩数計アプリを利用し、歩いた歩数に応じてプレゼントが当たる機会を設け、健康づくりを支援する方法に変更し、広く健康づくりに関心を持ってもらうことができるよう努めました。

### 【心身機能の低下の防止】

	計画策定時 (平成25年度)	目標値	最終評価時 (令和元年度)	結果
--	-------------------	-----	------------------	----

#### ◆地域リハビリテーション事業

64歳以下の訪問指導延べ数	187人	増加	178人	未達成
出前「転ばぬ先のからだづくり教室」実施件数	339人	増加	346人	達成

64歳以下の訪問指導延べ数も、出前「転ばぬ先のからだづくり教室」実施件数も横ばい状態でした。いずれも、依頼のある方への実施としていたために、増加していないものと思われます。地域包括支援センターなど関連機関との協力により、より周知を図っていく必要があると思われます。

### 【医療の充実】

	計画策定時 (平成25年度)	目標値	最終評価時 (令和元年度)	結果
--	-------------------	-----	------------------	----

#### ◆地域医療支援事業

休日、夜間の医療体制の確保	100%確保	100%確保	100%確保	達成
---------------	--------	--------	--------	----

地域における休日の診療体制と、休日・夜間の救急医療体制の確保は継続して達成できています。

## 第5章

### 分野別計画及び評価指標

#### <長岡京市健康増進計画分野別計画の体系>

分野別計画	目標	事務事業名
第4次総合計画に おける柱・目標		
<b>母子保健分野</b>  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">こども</div> 子どもを望む人が安心して妊娠・出産でき、また、乳幼児が健やかに育つ環境が整うこと	・それぞれの家庭に応じた支援を受けることで、保護者が安心して子育てに取り組むことができる。  ・地域で見守りができる環境が整い、子育て中の親子が地域とつながりを持つことができる。	<input type="checkbox"/> 長岡京子育てコンシェルジュ事業  <input type="checkbox"/> 乳幼児・妊婦健康診査事業  <input type="checkbox"/> 子育て応援教室事業  <input type="checkbox"/> 育児支援家庭訪問事業  <input type="checkbox"/> 医師・心理発達相談事業  <input type="checkbox"/> 予防接種事業
<b>成老人保健分野</b>  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">くらし</div> 「自分の健康は自分で守る」という意識と行動が浸透し、疾病の予防と早期発見、治療につながって、市民の健康寿命が延伸すること	・市民が生活の中で、自然と健康に関する知識を身につけ、健康で過ごすための生活を実践することができる。	<input type="checkbox"/> 健康づくり教育事業  <input type="checkbox"/> 成老人健康診査・がん検診事業  <input type="checkbox"/> 生活習慣病予防事業  <input type="checkbox"/> 地域リハビリテーション事業

\*新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの事業運営について  
 新型コロナウイルス感染症対策として、接触の制限や、密集の回避などの新しい生活様式の実践をしながらの事業展開となるため、事業の遂行に影響が出る場合があります。  
 また、そのような制約の中で、実施方法を工夫し、効果的に実施する方法を検討しながら進めていく必要があると考えています。

# 1. 母子保健分野

## 〈現状と課題〉

・平成28年度から「長岡京子育てコンシェルジュ(子育て世代包括支援センター)事業※」を開始し、妊娠・出産・子育て期の切れ目のない支援を目指し、支援体制の構築や早期支援の充実を進めました。妊娠届出時に妊婦及び家族に対して保健師などが面接を行い、様々な状況を把握し、妊婦が安心して出産を迎えられるよう、それぞれの妊婦に応じた支援を行いました。相談数は年々増加し、保健師等の専門職が関わる機会が増えています。

・核家族化が進み、産後十分な育児のサポートを得ることができない状況から、育児が負担になる家庭が増えています。出産後、両親とも仕事を継続する家庭が増えています。

・地域での子育て教室や子育て支援センター等が増えたことにより、親子が出かけて相談をしたり、育児に関する情報を得たりする場所が増えています。



### 【用語説明】

※長岡京子育てコンシェルジュ:長岡京市の子育て世代包括支援センターの名称

## 〈今後の方向性〉

・子どもの健やかな発育、発達を促すため、疾病の早期発見、早期支援に加え、保護者が育児を前向きに行うことができるよう、必要な情報提供を行っていきます。

・家庭の育児力を高め、個々の家庭で協力し合いながら育児ができるよう、家族状況に応じた支援を行っていきます。

・地域の子育て支援情報を常に更新し、個々に応じた情報を提供できるようにしていきます。

・子育て支援に関わる機関と連携を図りつつ、市で取り組むべきことを精査し、自ら出かけることのできない家庭も含めて、必要な情報を得ることができたり、相談をしたいと思ったときに相談をしたり、支援を受けることができる体制を作っていきます。

## 〈子育て中の家庭をサポートするための市の取り組み(策定時)〉

□長岡京子育てコンシェルジュ事業

□乳幼児・妊婦健康診査事業

(乳幼児健康診査(4か月・1歳8か月・3歳6か月)、妊婦健康診査)

□子育て応援教室事業

(Hello Baby 教室、離乳食教室、10か月児教室、1歳3か月歯の教室、子育て相談会)

□育児支援家庭訪問事業

□医師・心理発達相談事業

□予防接種事業



<長岡京子育てコンシェルジュールーム>

## 〈評価指標〉

評価項目	策定時 (令和元年度)	目標値 (令和7年度)
全ての妊婦の状況把握率	100%	100%
新生児訪問の訪問率	98%	99%以上
育児の悩みを相談する人が「いる」と答えた割合 (4か月児健康診査時)	94.5%	95%以上
3歳6か月児健康診査受診率	96.9%	95%以上(*)
3歳6か月児健康診査の未受診児の状況把握率	100%	100%
Hello Baby 教室の参加率	21.3%	25%以上
10か月児教室の参加率	93.2%	94%以上
むし歯のない3歳児の割合	90.4%	90%以上(*)
支援が必要な家庭への訪問等での支援割合	100%	100%
乳幼児期の予防接種の接種率	95%以上	95%以上

(\*)健やか親子21(第2次)の目標値と合わせました。



<1歳3か月歯の教室>  
歯科衛生士の話

### Web 離乳食教室のご案内

\*現在、保健センターでの離乳食教室は中止しています。  
\*離乳のしおり(ホームページからダウンロード可)と合わせてご覧ください



←こちらのQRコードから  
アクセスでも可

長岡京市役所

→子育て教室  
→離乳食教室

『Web 離乳食教室』より ↓

10 歯が芽の作り方



歯を  
溶かして  
飲む方法

離乳食の作り方



離乳食の作り方

こップ飲み



こップ飲み

食べさせ方



食べさせ方

ぜひ、離乳食の進め方の参考にしてください。  
わからないこと、困ったことがあれば、  
いつでもお電話までご相談ください。



長岡京市役所 健康医療推進室  
TEL 955-9705 FAX 955-2054

かしこ暮らしっく  
長岡京

<離乳食教室>  
Web 教室チラシ



# Hello Baby 教室

これから妊娠・出産期を迎えようとしているご夫婦を対象に開催しているのが Hello Baby教室です。従来までの、妊娠中から出産・育児の情報を提供するだけではなく、夫婦参加型のワーク・実習を多く取り入れ、夫婦がリアルに「赤ちゃんがいる生活」をイメージするプログラムになっています。



・初めての妊娠・出産なのでわからないことばかりなので参加できてよかったです

・参加させてもらってよかったです。今日のことを参考に育児をふたりで頑張ります。また相談もさせていただこうと思います。

## 妊娠中の栄養について



## 妊娠中～産後の話とワーク



## 歯科の講義・歯磨き実習

・着替えの方法等がわかりやすく、大変良かったです。

・おむつ、沐浴、抱っこは初めての経験でとても勉強になりました。楽しく学びました。

## 抱っこ・着替え・沐浴体験



妊婦体験

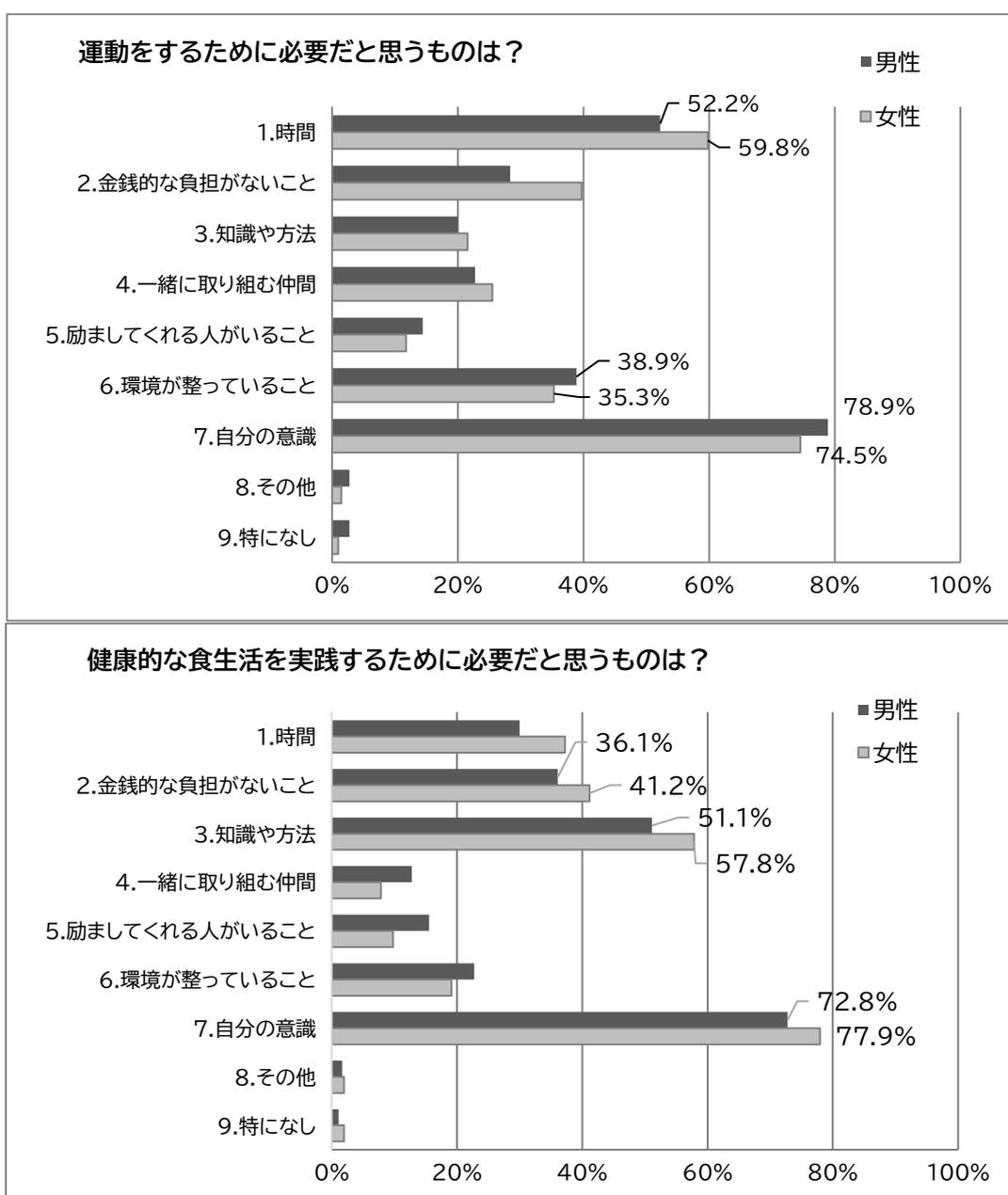


## 2. 成人保健分野

### 〈現状と課題〉

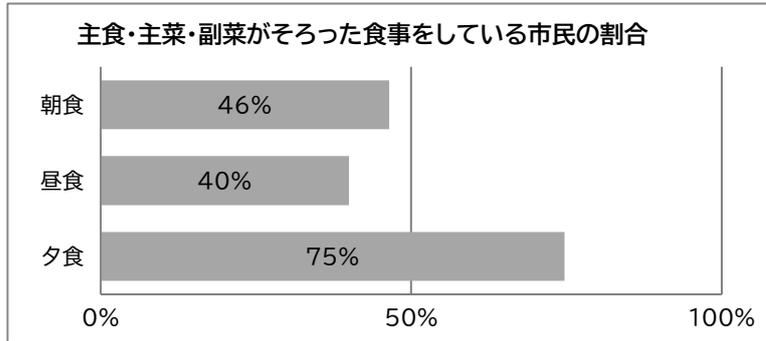
・広報紙等で情報発信する健康に関する講演会や教室の参加者は、毎年参加している人や、他の様々な講演会や催しに参加されている人が多い現状にあります。

・市民アンケートでは、運動をするために必要なもの、健康的な食生活をするために必要なものともに「自分の意識」と答えた人が多い状況です。



(令和元年度 長岡京市「食と健康に関するアンケート」)

・朝食と昼食で主食・主菜・副菜がそろった食事をしている市民の割合が半数以下となっています。



(令和元年度 長岡京市「食と健康に関するアンケート」)

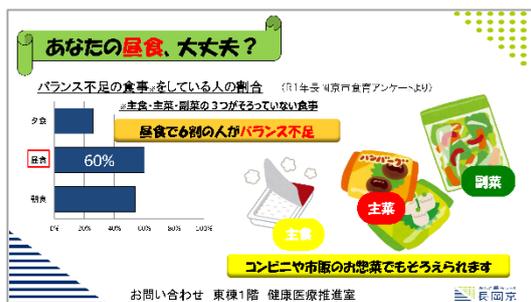
・生活習慣病予防のための特定保健指導においては、対象者自身が特定保健指導の対象者となっている意識が薄く、指導につながらない人も多い現状があります。

・地域リハビリテーション事業は、疾患を持っていても地域で生活できるよう小児も含めた支援を行い、ニーズは多様化しています。

## 〈今後の方向性〉

・健康に関心のある人は、広報紙等で自ら情報を得て、講演会や教室へ参加しています。健康に関心のない人へも、情報が届き、健康になるための行動を取ることができるよう、普段の生活の中で自然と健康づくりに取り組むことができるような環境づくりを行っていきます。

・健康に生活できる期間を延ばすために、市民が健診(検診)等を定期的を受け、結果に応じ必要な行動等を取ることができるよう、市民のニーズを把握し、健診(検診)や保健指導等を受けやすい環境を整えていきます。また、市民が自ら健康管理をしていくことができるよう、市民にわかりやすく届く情報発信に力を入れていきます。



〈健康情報発信〉  
市政情報放映モニターの活用



〈階段アートによる情報発信〉



## 〈評価指標〉

評価項目	策定時 (令和元年度)	目標値 (令和7年度)
健康づくり啓発事業の参加者数	15,641人	16,000人以上
1日の平均歩数	男性 7,700歩	8,700歩以上
	女性 5,800歩	6,800歩以上
主食、主菜、副菜の揃った食事を1日2食以上食べている人の割合	55.7%	58%以上※3
大腸がん検診受診率(40～69歳)	4.9%	5.4%以上※1
乳がん検診受診率(40～69歳)	13.3%	13.8%以上※1
歯周疾患検診受診率	4.8%	8%以上
特定保健指導実施率	24.8%	60%以上※2
地域リハビリテーション指導が必要な家庭への訪問等での支援割合	100%	100%

※1 前計画策定時は、対象者数を全人口から就業者を引いた数としていましたが、国基準が全人口で評価する方法に変更となったため、対象者数を国基準に合わせました。

※2 長岡京市データヘルス計画と合わせました。

※3 長岡京市第3次食育推進計画と合わせました。

〈健康マイレージ事業〉  
あるくとチラン

# 《資料編》

## 1. 計画策定の過程

### (1)健康増進計画の評価を実施

健康医療推進室保健活動担当において健康増進計画(前計画)の目標に照らし合わせ、現状の分析、目標指標達成・未達成を確認、検証

### (2)市民アンケートの実施（令和元年6月）

市民の健康づくり意識の調査(第3次食育推進計画策定のためのアンケートと共同実施)

- ・対象者:15歳以上の市民 1,500人無作為抽出
- ・回答数:388人(郵送、Webによる回答)
- ・回答率:25.9%

次期計画の目標指標の設定

分野ごとにグループワークを実施し、次期計画の目標設定を行い、計画素案を作成

### (3)パブリックコメントの実施（令和3年1月）

## 2. 長岡京市地域健康福祉推進委員会健康づくり部会での検討

計画策定に向け、長岡京市地域健康福祉推進委員会健康づくり部会で検討を行いました。

(3回実施)

令和元年11月20日 第1回目 健康増進計画(前計画)の評価を報告

令和2年2月6日 第2回目 第2次健康増進計画の評価指標を検討

令和2年11月18日 第3回目 第2次健康増進計画素案を検討

《長岡京市地域福祉推進委員会健康づくり部会委員》

任期:平成 31 年 4 月 1 日~令和 4 年 3 月 31 日

委員名	所属	備考
松田 亮三	立命館大学 産業社会学部	部会長
小原 尚之	一般社団法人 乙訓医師会	R2.6 まで
海老澤 哲也	一般社団法人 乙訓医師会	R2.6 から
内藤 雅文	京都府乙訓歯科医師会	
水島 啓子	公益財団法人 長岡京市スポーツ協会	
相模 真澄	特定非営利活動法人 おとくにパオ	
坂口 典子	市民公募	
片山 達	市民公募	
細野 幸代	京都府乙訓保健所保健室	R2.3.31 まで
極山 貴子	京都府乙訓保健所保健課	R2.4.1 から
永井 翔子	乙訓養護教員部会	R2.3.31 まで
吉村 友紀子	乙訓養護教員部会	R2.4.1 から

(順不同・敬称略)



## 長岡京市第2次健康増進計画

令和3年3月

発行:長岡京市健康福祉部健康づくり推進課

〒617-8501 長岡京市開田1丁目1番1号

TEL:075(955)9704・9705

FAX:075(955)2054

E-Mail:kenkou@city.nagaokakyo.lg.jp

URL:<http://www.city.nagaokakyo.lg.jp/>